

よいことのために手をとりあおう

2025～26年度 国際ロータリー会長メッセージ

▶例会日：第1・第3木曜日（12：30）
その他の木曜日（18：30～19：30）
▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河
▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5
（白河商工会議所内） ☎23-3101 FAX22-1300

ホームページURL <https://shirakawa-west-rc.jp>
メールアドレス yoshida@shirakawa-cci.or.jp
facebook <https://www.facebook.com/ShirakawaWestRotaryClub/>

会長 藤田 龍文
幹事 運天 直人

創立1986年

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1871回例会 | 令和7年10月2日
12:30～13:30



創立40周年

- ソング
 - 奉仕の理想
- ビジター
 - 米山奨学生 タマン ラジュウ様
 - カウンセラー 吉田大二様(須賀川RC)
- スマイルBOX
 - 吉田大二様(本日は米山奨学生、タマンラジュウ君にスピーチの機会を与えて頂きありがとうございます。来年はガバナー金田様のサポートで大変だと思いますが、頑張ってください。)
 - 藤田龍文会長(本日は米山奨学生のラジュウ君、吉田会長、来訪ありがとうございます。ラジュウ君、卓話ありがとうございます。)
 - 運天直人幹事(米山奨学生のタマン・ラジュウ様、卓話ありがとうございます。また世話人の吉田様ようこそ白河西クラブへ。来年の交換留学の参考にさせていただきます。)
 - 前原俊治会員(米山奨学生タマンラジュウ君、カウンセラー吉田大二様ようこそ。卓話有り難うございました。今日スマイル委員会での初仕事でした。)
 - 齋藤孝弘会員(タマン・ラジュウ君、吉田様今日は卓話ありがとうございます。)
 - 成井正之会員(本日は愛妻奉仕の為、鳥取に来ているのでお休みさせていただきます。今週の大谷スマイルはレギュラーシーズン54、55号、ポストシーズン2本で4本分となります。)
 - 金田昇会員(須賀川クラブ吉田様ようこそ、タマンラジュウさん卓話ありがとうございます。)
 - 十文字光伸会員(結婚記念プレゼントありがとうございます。)
 - 富永章会員(結婚祝いありがとうございます。)
 - 池田浩章会員(米山奨学会委員会の皆様例会担当お疲れ様でした。結婚記念日のお祝い、新鮮な野菜とお米ありがとうございます。)
 - 吉野敬之会員(誕生祝い有難うございました。知らないうちに62才になっていました。この調子で知らないうちに100歳迄頑張ろうと思いますので、今後も長いお付き合いを宜敷くお願い致します。)
 - 渡部勝也会員(結婚記念日56回目になります。2人共元気にすごしております。10月1日誕生日でした、年齢は思い出しませんか?)
 - 中目公英会員(10月は、結婚記念日と誕生日の、ダブルでお祝いをいただきまして、誠にありがとうございました。)
 - 鈴木孝幸会員(本日は誕生祝、ありがとうございます。体調もやや戻り、先日市川会員のゴルフコンペでまさかの”2つのチップインバーディ”を出す事が出来ました。スマイルはずませて頂きます。)
 - 山縣栄寿会員(本日もスマイルいただきます。スマイル、スマイル、スマイルで過ごしましょう)

【今週の仮メイクアップ会員】

- 9月20日 ファシリテーション研修会
金田昇
- 9月28日 RLIパートII
青木大、吉成真五郎

▶第1871回例会出席状況 (R7年10月2日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	55名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	18名
Ⓓ 全正会員数	73名
Ⓒ ①の出席者数	23名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	15名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	38名
Ⓖ = ③ - (② - ⑤)	69
① = ⑥ / ③ × 100 (例会出席率)	55.0%

本日のプログラム

■会長の時間

藤田龍文会長



皆さん、こんにちは。今日は米山奨学会委員会の担当例会ということで2名のお客様がいらっしゃっております。ご紹介をさせていただきます。まず初めに、米山奨学生のタマン・ラジュウ君です。そして、カウンセラーでもあります須賀川ロータリークラブの会長、吉田大二会長でございます。後程、お二方からはお話をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。まず、先日の例会で緊急理事会ということで理事会を開かせていただきまして、その時の内容のお知らせをしたいと思っております。これ次年度の対応になるんですが青少年交換留学の件ですね、それを承認するかしないかという理事の案件だったんですが、当西ロータリークラブも10数年前は留学生の交換留学を受け入れたりいろいろしてはあったんですがしばらくお休みしております、今年度ロータリーの交換留学の応募に関しまして西郷在住の方が応募になったということで、当時ですと各クラブのご子息だったりご親戚の方が行ってたということで、各クラブからこう留学生があがってたんですが、ここ近年はこの留学する方がなかなかいらっしゃらないということで各学校に公募をされてたようですね、ちょっとその辺は逆に言うとロータリークラブのほうとしては把握しきれない部分もあったんですが、石川義塾の在学のお子さんが応募されて先日地区のほうで合格されたということで、その方の居住地が西郷ということで、そのホストクラブが居住地の該当する私どもでいかがなものだろうかということで打診がありましたので、先日理事会にかけさせていただいて、もちろんいろいろなお意見ありましたが総意としましては理事会の承認を得たということで、石川義塾の菊地愛子さんという女性のお子さんなんですが、そちらのホストクラブを当クラブで受け持って、次年度になりますがそちらを当クラブホストとして送り出すと。そして、その派遣国まだ決まってはいるんですが、ベルギーかオランダか台湾のいずれかの国に菊地さんは派遣されるんですが、ということはその国のロータリークラブの方がこちらにもいらっしゃるということで、まだ男性女性もわからないんですが、そういうクラブで当クラブがホストクラブとして来年一年間そちらも担うということになり

ます。次年度、ガバナー輩出もありますいろいろな面で刺激が多い年になるかと思いますが、そういったところではよろしく皆様にもいろいろご協力お願いすることがあるかと思っております。次年度の対応ですので、どうしてもまだちょっと組閣とかそういった部分もまだまだ未確定のまんまなんですが、青木次年度会長にも承認を得まして、いろんな部分でもう研修も8回くらい来年の8月に留学生が行くんですが、それまでに8回ぐらい研修があるということですので、そういったところを会員の皆様にもいろいろご協力をいただいたりしながら送り出すという形になるかと思われしますので、是非お願いしたいと思っております。その他後程大竹国際奉仕委員長の方からもお話がありますが、ロータリーカードのご案内等もいろいろございます。そういった部分皆さん是非ご協力していただいて会の運営に盛り上げていきたいと思っております。あともう一つ、新入会員の会員増強の件だったんですが先日居川会員と堀田会員のご協力いただいて新たな方が入会申込書をお持ちいただきました。ただ、全国の手企業支社長ということですので、本人はもう内諾をいただきました。ただ、やはり会社の決済をいただかなくちゃいけないということですので、定款や名簿そして入会の規定等を今、会社に上程するという形になりますので、そちらの許可さえ得られればすぐにでも入りたいということですのでもしかしら次週ぐらいにはまた新しい会員の方がいらっしゃるという可能性もあるかもしれませんので、今年40周年ですし、次年度ガバナー輩出もありますので、多くの方でガバナーエレクトを支えていきたいと思っておりますので、その辺も皆さんご協力いただければと思います。それでは、今日は米山奨学会委員会の担当例会となりますのでよろしくお願いいたします。

■幹事報告

運天直人幹事

○ガバナー 泉田征慶 社会・国際奉仕委員会委員長
白石薫：「奉仕活動に関するアンケート調査」ご協力のお願い（再送）

○業務推進室：地域社会の経済発展月間リソースのご案内

○国際ロータリー：公共イメージニュース：公共イメージ向上に力を注ぐ

○福島民報社：「国際ロータリー第2530地区地区大会」特集広告ご協賛のお願い

○青少年交換委員長 藤田元：2026-27年度派遣候補

生第1回オリエンテーションのお知らせ

○泉田ガバナー事務所：財団NEWS 2025年10月号

○米山記念奨学会理事長 若林紀男：10月米山月間資料のご案内

○ガバナー 泉田征慶 グローバル補助金委員長穴戸宏行：グローバル補助金ゼミナール開催（通知）

■各委員会報告

●雑誌広報委員会

佐川京子委員



皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会より『ロータリーの友』のご案内をさせていただきます。皆さん、お手元にあると思います。今月の表紙はとても鮮やかなマリーゴールドと素敵な絵になっています。まず、

横のほうのページの3ページを開いていただきたいんですけども。RI会長メッセージということで、今月は地域社会を主導する開発とはということで、10月はロータリーの地域社会の経済発展月間ですということで書いてあります。そして、右側の真ん中へんなんですけど、リーダーシップとはということで必ずしも前面に立つことではありません。人の声に耳を傾け協力し他者の声を広めることもリーダーシップです。そうした姿勢こそロータリーの理念の核心であり、経済発展における私たちの持続的なインパクトな基盤なのですというふうにありました。RIのこの言葉にはなるほどというふうに思いましたので、皆さんも読んでみてください。続きまして、15ページをご覧ください。毎年10月は先程幹事のほうからもご紹介がありましたように、米山月間ということです。日本ロータリーの創始者米山梅吉、皆さんご存じのとおりですけども、後世まで残る有益な事業を行いたいということで、米山基金は海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業です。日本は平和日本を世界に伝え、国際親善と国際平和に寄与したいという強い願いがありましたということです。そして、次のページからは第6代米山親善大使の3人が紹介されています。この米山親善大使は各ロータリーに呼ぶことができるということで17ページに招聘方法というものが書いてあります。今後、こういう米山親善大使を呼んでみてもいいのではないかなというふうに思いました。皆さんも読んでみてください。続きまして、縦書きのほうなんですけれども反対側めくっていただいて14ページ。私がちょっと目に留まったのは、「友愛の広場」

のところ「ロンドンで見た超我の奉仕」かながわ湘南、高木直之さんの記事なんですけれども、ロンドンに行った時にグローバル補助金奨学生コーディネーター、ジョー・パートレッド氏と会って交流を深めましたということで、そのロンドンに行ってロンドンではロータリーの重点分野に関わる多くの教育機関が沢山あって、世界のロータリークラブから奨学生が渡英し、半分近くが日本から行ってるというようなことで、大学院生対象の寮、カレッジ、これは国際理解と平和構築を目的とする非営利団体の寮で、チャールズ国王が後援者になっているというような所で、ここに奨学生と一緒に来て来たというようなことだったんですけども。その後、過去の奨学生として日本人初の国連難民高等弁務官、緒方貞子氏や、日本女性初の国連事務次長、中満泉氏。宇宙飛行士、山崎直子氏といった素晴らしい人材をロータリーが世に送り出してきたことなどをこの高木さんが講演してきたというようなことだったんですけども、ロータリー財団への寄付がなければ世界中に奨学生を送り出すことはできませんでしたということが書いてありますけれども、本当にロータリー財団から世界で活躍する人が輩出してるんだなというふうなことを感じました。その他、沢山興味深い記事があるので皆さんも読んでみてください。

●国際奉仕委員会

大竹憂子委員長



皆さん、こんにちは。国際奉仕委員会のほうからお知らせをしたいと思います。先週山縣会員のほうから合同セミナーの報告がありましたが、その補足的なものなんですけども、国際奉仕委員会としてちょっと目に

入ったのはロータリーカード、これを実際今会場にいらっしゃる皆さん持ってる方どのぐらいいらっしゃいますか。お二人ですか。ロータリーカード、テーブルのほうに2部づつ置かせていただいたんですけども、そちらの資料ご覧になっていただけるとわかりやすいかと思うんですけども、ロータリーカード、これを作りましてカードを使うことによって0.3%カード会社のほうからポリオの撲滅運動のほうに募金が回るというそういったものなので、皆さん会員の方達にご迷惑の掛からない形で一応その奉仕ができるという形があるので、是非皆さんにロータリーカードを作ってくださいと思ひまして今日ご案内させていただきます。

今、金田会員のカードをお借りしてきたんですけど、こういった感じのカードで、あとはダイナースクラブのほうですと、法人(クラブ)となっているのは会長、副会長、幹事、会計、それから理事、会長エレクト、次期副会長、次期幹事、次期会計、次期理事ということで登録ができるそうなんです。これですと無料で出来ますし、あと会長が終わった時には有効期限が切れてしまうみたいなんですけども、毎年代わる代わるそうやって作っていただくような形にはなりますが、こちらは年会費のほうが無料ということなので、是非こちらのほうから申し込んでいただければと思います。そう思いましてQRコードをダイナースクラブのほうとマスターカード、オリコのほうと、QRコードをそこに設置してありますので、カードをお作りになる時にそちらのQRコードから入っていただけるとありがたいと思います。もし用紙が足りない時にはおっしゃっていただければ、後程差し上げたいと思いますのでよろしく願いいたします。是非皆さん、ロータリーカード作って、そして利用していただきたいと思いますのでお願いいたします。

1 財団寄付のお願い ◆ロータリーカードについて◆

	Diners Club		MasterCard (オリコ)		
	個人	法人 (クラブ)	スタンダード	ゴールド	法人
デザイン					
年会費 (税込)	本会員 24,200円 家族会員 5,500円	5,500円	無料	11,000円	3,300円
カード利用額からのロータリーへの寄付	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%
年会費からのロータリーへの寄付	-	-	-	3,000円	1,500円
獲得ポイントからのロータリーへの寄付	-	-	-	1,000マイル ⇒ 5,000円	-

1 財団寄付のお願い ◆ロータリーカードについて◆

● Diners Club <法人カード>

種類	入会資格
クラブカード	会長、副会長、幹事、会計、理事、会長エレクト、次期副会長、次期幹事、次期会計、次期理事
地区カード	ガバナー、ガバナー補佐、地区代表幹事、ガバナーエレクト、ガバナーミニ、直前ガバナー、次期ガバナー補佐、次期地区代表幹事、次期地区会計長
地区委員会カード	地区内の各委員会委員長、地区内の次期各委員会委員長

1 財団寄付のお願い ◆ロータリーカードについて◆

● MasterCard(オリコ)

① ポリオ根絶に貢献
カード利用金額の0.3% (法人は0.5%) がポリオプラスに寄付 (寄付金はカード会社が負担) されます。
また、年会費からもポリオプラスに寄付されます。
☆ ゴールドカード ⇒ 3,000円
☆ 法人カード ⇒ 1,500円

② 貯まったポイントで財団寄付ができます (ポイント交換)
1,000マイル ⇒ 5,000円

年会費

ゴールドカード 11,000円 (税込)
法人カード 3,300円 (税込)

●会計



市川正人会員

皆さん、こんにちは。会計からのご連絡でございます。今月は会費の徴収月となっております。27日月曜日、口座のほうから引き落としさせていただきますのでご準備お願いいたします。振り込みの方もいらっしゃいますので、こちらの方も手続きのほうお願いいたします。詳細は事務局のご案内のほうご確認いただければと思います。

●親睦活動委員会

十文字俊之会員

【誕生日】

渡部勝也会員、中目公英会員、吉野敬之会員、鈴木孝幸会員、藤田龍文会員、十文字俊之

【結婚記念日】

渡部勝也会員、永野文雄会員、富永章会員、金田昇会員、池田浩章会員、中目公英会員、大竹憂子会員、藤田龍文会員、鶴丸彰紀会員、諸橋和典会員、渡部則也会員、車田雄介会員、青木大会員、十文字光伸会員、白岩修一会員



●ゴルフ愛好会

堀田一彦会員



皆さん、こんにちは。来週の火曜日、10月7日に米沢中央ロータリークラブさんとの交流コンペを行います。その夕方17時から「赤門」のほうで表彰式及び交流会のほうを行いますので、参加できる方はお申込み明日までとなっておりますので、是非事務局のほうに参加○を付けて提出していただければと思います。

■本日のプログラム 米山記念奨学会委員会担当例会

●米山記念奨学会委員会 齋藤孝弘委員長



皆さん、こんにちは。米山記念奨学会の委員長の齋藤です。よろしくお願いたします。早速ですね、紹介させていただきたいと思ひます。

タマン・ラジュウ君、24歳です。ネパールのドラカという町から来ております。標高2500メートルあるそうです。先程もちょっとお話ししたんですけど、日本語がペラペラでして日本語検定も2級だそうです。ちょっと調べたら合格率10%ということで、非常に優秀な方だと思ひます。3人兄弟で妹が2人いるそうです。今、大学生と高校生の妹さんがいるそうで、非常に優秀な家庭なのかなと思ひます。現在は、国際情報自動車大学校に通っております。趣味は詩を作ることで、俳句とかこれから日本で学んでいきたいなということだそうです。それでは、世話人の吉田様から先に一言よろしくお願いたします。

●米山奨学生カウンセラー

須賀川ロータリークラブ会長 吉田大二様



皆さん、こんにちは。わたくし須賀川ロータリークラブで米山奨学生のカウンセラー兼会長をやっています吉田でございます。どうぞよろしくお願いたします。私はロータリーに入りましてちょうど10年になりました。

今まで須賀川ロータリークラブでは米山奨学生10人面倒見てきております。そして、高校生の交換留学生プログラムでは、ちょっとうる覚えなんですけども、約30弱の方の回数をやってまして、うちのクラブでは最近受け入れたのがですね、アメリカからの留学生でホストファミリーがなかなか見つからなくて、これから交換留学生を受け入れるかといったらなかなか簡単にはいかないような今状況になっておりましてですね、前回受け入れました留学生が女の子で、男の子であれば私の家でも見れたんですけども、私も娘にホストファミリーやれって言ったんですけども、やって3ヶ月づつ交換でやろうということをやったんですけども。向こうからアメリカからの報告書の中にその子の病気のことが書いてなくて、ちょっと毎日薬飲んでるのでうちの娘が何の薬って言ったらADHDだと。そうか、何回も片付けろ片付けろと言っても片付けられなかつ

た子なんですけどもね。それでようやくわかって、そういうことならわかりましたってということで、そのあと楽しく過ごしたようでございます。わたくしはロータリークラブの活動の中で、米山梅吉さんが作った奨学生への援助プログラムというのは素晴らしいものだと思ひて、ここ6回は私進んでカウンセラーやらせていただきまして、中国人2人、韓国人1人、バングラデシュとそしてネパールは今回でラジュウ君で2人目という担当ということでやらせていただいて。その中で素晴らしいことは、やはり若者たちの勉学へのこの熱意、そして行動力。これをすごくやっぱり感じる自分が自分にとってももの凄いなと思ひます。ロータリアンでいる限り、私は米山奨学生達と縁を切らないでですね、いようと思ひています。今回、地区大会が浪江のほうで行われるんですけども、前回面倒見たリファット君というバングラデシュの子がですね、福島県内で就職したいということいろいろ奔走してですね、そして浪江にある「シマ商会」というロータリアンの方なんですけども、その会社に入れて、今、貿易の仕事の関係に従事して大変良かったということで喜んでおります。そして今、浪江の方で奥さんと二人で新婚生活を送っておりますですね、そういう話を聞くと米山のカウンセラー冥利に尽きるなということを感じております。本日のタマン・ラジュウ君も非常に優秀な方で、毎回奨学金をやる時にはですね、自分で詩を書いてラップで私たちに伝えてくれるので、それは非常に楽しみでございました。それなんで、タマン・ラジュウ君に約25分これからお話しただくわけですけども、チベットの麓、標高約2500メートルぐらい。チベットからネパールへ中国に抜ける街道沿いに生まれたラジュウ君ですので、いろいろ面白い話が聞けるかなと思ひます。どうぞよろしくお願いたします。

●米山記念奨学生

タマン・ラジュウ様



皆様、こんにちは。私はロータリークラブ須賀川にお世話になっておりますタマン・ラジュウです。出身はネパールです。本日はよろしくお願いたします。私の出身国の話から始めていきたいと思ひます。ネパールは

北に中国と南にインドに囲まれている内陸国であり、今まで歴史的にも植民地にならなかった民主主義の独立する国なんです。それで、私が生まれたのは首都がカトマンズであって、そこから大体150キロメートル

離れて東の方ですね。離れて、実際カトマンズ首都よりも中国のチベットのほうが近いですね。それで標高が2500メートル以上。天気は冬の時はそんなに寒くはないですね。日本と比べたらマイナスには下がらないです。大体4度5度ぐらいまでは下がるけどマイナスにはならないです。冬にそれと、あとは雪はもちろん降ります。暑い時はそんなに暑くないです。今まで昔は、25、26、27度って話は聞かれてたんです。ですけど、最近地球の温暖化のいろいろな影響で温度も気温も上がってるということで、今もまだ30度は超えるか超えないかです。私の家族のことを紹介すると、お父さん、お母さんが私よりちょうどお父さんが20歳上で、お母さんが19歳上ということは、私が24歳ではなく23歳です、お父さんが43歳、お母さんが42歳ですね。それで私の妹二人が私から一番下が5年下だから今18歳ですね。その下が2歳下なので、16歳ですね。私の妹二人は地元の小学校、中学校、高校同じ学校で勉強してて、私から一番下の妹は大学にも入ったんですけど、大学を卒業するには大体4年から5年長い時間がかかりますので、一応1年生の最後の進級試験も受けましたが、妹も日本に来たい来たいって前から言ってたから、じゃあそれなら日本語学んでいいよって私も許可出して、親たちからも許可して、今、日本に来るために日本語は大体N4レベルは学んでいて申し込んだところですね。結果は日本の大使館、ですがネパールだと、そこからこちらの入管から教科書をいただいたら、大体次の2月にその結果は合格か不合格ということがわかりますが、それいただいたら妹も日本に来ることになります。そして、先程吉田さんからもありまして一つ詩文を聞かせていただきたいと思います。この詩文はちょうど1年前書いた誰にも聞かせたことのない。それと今日はネパールだと全国で一気に行われているダサインという大きなお祭りが行われていて、今日がメインで今日から始まるんじゃなくて今日メインで、あとは5日間ずっと続くみたいですね。そのお祭りのこともいろいろ含めて「ママに手紙」というテーマに私が詩文を書きました。始めていきたいと思っています。

「ママに手紙」

お母さん 今年も〇〇ことにしてください お母さん 今年も〇〇ことにしてください 自分の息子帰ってくるかなと思わずに待たないようにしてください 運が悪い君の息子 運が悪い君の息子 今年のダサインでも帰れないことになってしまいました 今年のダ

サインでも帰れない事になってしまいました 一昨年も帰らないと思ったわけではない 一昨年も帰らないと思ったわけではなかった 去年の僕のため去年ではなかった 未だに何となく思い出している自分が自分のおでこにティカを張り付けて一人でダサインのお祝いしたあのくらいに目からしょっぱい水全く止まらないんでしょ 目からしょっぱい水全く止まらないんでしょ 顔のはだしは顔のはだしは3つから5つにならなかったとは思わない けれども親父にもお伝えください 窓の隙間から僕が帰ってくる道に朝から夕方まで目を出さないように 僕が帰ってくるあの道朝から夕方まで目を出さないように あの公園 あの釣りをする川 あのすべてのことを忘れちゃったっていうわけでも全くありません 雨の季節に小学校のグラウンドに滑って転んじゃったあの日まだ覚えてますよママ 君が僕の目の埃を取り出してくれたこと 君が僕の目の埃を取り出してくれたこと 心が変わっちゃった人でしょう 心が変わっちゃった人でしょう 期待してても行ったきり帰ってこないの 苦勞している人絶対帰ってくるから 僕もいっぱいお金を稼いで 福島の桃 北海道の魚 いろいろな幸せを買ってまもなく帰ってくるんだよ ママお待ちください 君の息子ラジュウ

以上です。というふうに、詩文とかが私はわかんない、いつから書き始めたか私自分もはっきり覚えていません。私が思い出したら書けるようにはなりました。小学校の頃からこういうふうに聞かせたら先生たち、友達たちにいっぱい褒めてくれたことがいっぱいあります。それで、私の学生時代の話をしたら私は大体5歳になってから小学校の1年生に入学しましたね。その時は、小学校に入る前の今は生まれて3年か4年からいろいろな勉強にならすために、いろいろな授業とかもありますけどあの頃はなかった。それはなかったので、私は直接小学校の1年生に入学して、それで大変になったことは私ネパールでは民族が多くて私のタマンというのは民族の中の一つ苗字なんです。タマンという苗字の社会でも、その社会だけで喋っている単語というのがあって、それは家にいる時はその単語しか喋らなかつたんですね。学校に行ったらまた別にネパール語で喋らなきゃいけない。それと英語、そして算数がいろいろな増えてきて私は最初はちょっと大変だったんですね。それでも、1年生から2年生になる時は進級する時は上がる時は1番目になりました。その事は続いて大体その小学校は別で私の時は別で大体

山道だから険しい道があって、私の家から大体大人だったら大体20分25分ぐらいの道を下に険しい道がさがって行って、帰ってくる時は上り道ですね。それが私の場合は大体1時間ぐらいかかってました。それで苦労して毎日朝起きて毎日学校通ってました。それで、小学校を卒業してから中学校に入る時は自分の家から大体10分間ぐらいの距離にある学校に入学してそこでも勉強頑張っていました。中学校卒業してからは、自分の地元から離れて首都まで行って一人暮らし。そして、アルバイトもしながら勉強も頑張っていました。教育的には日本のシステムはどういうふうになっているのか、それは私は大体はわかっていますが、詳しくはどういうふうの流れなんですか。それはわかっています。それは後で調べたり教えてもらったりしますが、ネパールの場合は小学校卒業して中学校卒業して高校は2年だけの勉強ですね。それから、首都に移動して入学して2年間そこで学んでました。それが高校学んで卒業したのは2019年卒業で、そこから大学に入ろうとも考えなかったわけでもないですけど、どうしたらいいかなと迷っちゃったところが海外に行ってもいいよと親から言われて、それがどこの国に行けばいいか、それも自分の親戚のちょっと偉そうな大学とか卒業した親戚の方に聞いてみたら日本でもいいですよと勧められて日本語を学び始めました。日本語を学び始めて、日本語本当に難しいよ、ちゃんと頑張らねと言われて頑張ら、それでその勉強の途中でコロナが2019年の最後に大体11月12月頃にはめっちゃくちゃ流行っちゃって、それで勉強もしなくなっちゃいましたね。日本に来る道も止まりましたね。一応あの時は2022年までは止まりましたが、私は申し込んで日本に来るビザ、教科書はもう手に入れておいて、日本に行けるようになったら行けるように待ってました。それで2022年に日本にやっとまいりました。それで、日本に来て日本語を2年間、郡山健康科学専門学校の日本語学科で学んでました。それは郡山市内です。今現在、私は在学中の学校も郡山市内ですね。そこで頑張りましたね、日本語。最初はコミュニケーションする時は全然実際に教科書に書かれている文法とか言葉とか日本人たちは普段喋っている時は全く使わないんですね。大体、普通系で尊敬語もありますが大体は普段はそんな長くは見てないんですね。それで、どうすれば日本語上手になるんですかって聞く、苦労してました。言っていることが全然わからないんです。勉強していることと普段日本人が喋っていることが違う

て、それでN3レベルぐらいになったらそこからは実際の日本人が喋っているような文法の使い方とか言葉遣い、尊敬語、謙譲語とかが出てきて、同時に漢字も出てきてそこからはN3レベルぐらい勉強したら大体なんとなく日本人が言っていることは理解できるんじゃないかなと思うようになりました。それで日本語学校在学中の時、JLPT日本語能力試験は年に2回しか行われないんですね。7月と12月、2回しか行われないので私は7月にはN3合格出来て、N3の満点は180点ですね。それにも分かれて3つの科目になっていますね。文字・語彙は60満点で最低点が19点取らないと失敗ですね。読解も60点が満点で19点が最低点。それ超えないと失敗です。聴解も同じですね。上がN3の場合は90点、合計で3つの科目の点数を足して合計で95点超えないと失敗ですね。100点取っていても例えば聴解だけには19点超えなかった、18点だった、それも失敗ですね。そういうルールがありました、それ137点取りました。私は。N2は12月に受けて、私は読解がちょっと下手くそで読解にはぎりぎり合格してN2も108点で合格できました。N2は90点で合格です、上の合格点は。それで頑張りました。そこから、日本語学校卒業する前に願書とかいろいろ書いたりして、進学はどこにする、どんな科目勉強したい、将来はどんな仕事に就きたいですか。そんなことを先生に聞かれて、それでも日本に来る前からも私は車が昔子供の頃から車に興味があって、それでネパールだと車は私が子供でいた時は普段の人は乗れないですね、一般人は乗れなくて、偉い人たちが乗ってました。それはほとんど、ランドクルーザー、トヨタ、日産の車が多かったです。大きいバス、トラックというと隣のインドがよく走っていますが、乗用車の場合は日本車が多かったです。それで興味は持ってました、その時も。日本に来て、日本語学校卒業して、私にとってはこれは何よりのいいチャンスだと思って、何も考えずに自動車整備士の学校に入りました。それも東京とか関東のほうにもいっぱい優秀な学校がありますが、私は郡山市内にしました。そのきっかけは、どこで勉強してもどんないい学校に入っても、もちろん自分が頑張らなかつたら成功には繋がらないんじゃないですかという考えで、私は地元にある国際情報工科自動車大学校に入学しました。それで日本はどんな国ですか、日本人は本当にどんな方々がいらっしゃるんですかって大体わかるようになってきました、日本人に何回か私はコンビニのアルバイトで仕事やってる時、まわりが居酒屋さ

んがいっぱいあって、たまに夜勤明けの時はぶちぎられたことがあります。それはそうですね。飲んでからは人は普通の人じゃないですねと思うようになりました。日本人が嘘はつかないことが本当にいいですねと思いました。例えば、誰か日本人にこういうことありますよと頼んだら、その日本人は出来る限りは出来ますよって答えてくれますね。できなかったら、うーんちょっとごめんなさいねって言いますね。それで、出来ます、やってあげますと言ったら絶対やってくれるから、それが安心しています。それがネパール人の場合は、やってあげますよ、うんいいよって言うけれど、やってくれる確率はだいぶ低いんですね。それが日本人と外国人、自分の国の人の大きな違いじゃないかなと思います。2回目の詩文がちょっと聞いていただきたいと思います。私はこの詩文はこの前の例会、須賀川ロータリークラブの例会でも聞いていただいた「新しい年に」というテーマの詩文ですね。

「新しい年に」

新しい年はどうか新しい年はどうか工場の屋上から身を投げたくなるような夜が身を投げたくなるような夜が訪れませんかように 新しい年は心の底から泣ける人気のない場所が一つだけ見つかりますように 新しい年はもう彼女は来ないと知っているのにそれでも何時間も待ち続けてしまうような心になりませんかように

という形に書いてありました。最後に大体時間何分ぐらい残っていますかわかりませんが、私がこの前6か月で提出したレポート、レポート結構頑張って書きました。それが、学校の発表大会にも参加する学生が希望者がいればいよって担任の先生が言っていましたので、私やりますよって言って自動車分野からは私一人だけが参加しました。それが頑張ってレポートのためにも、その発表大会のためにも「努力と成功」というテーマにちょっと書きましたね。それは私のような頑張っている努力の道に進んでいる人たちは一回聞いたらいいかなと思うような発表です。それも発表させていただきたいと思います。テーマは「努力と成功」ですね。

この世の中では人それぞれ考え方も価値観も異なっていて、努力と成功の捉え方ももちろん同じではありません。それでも多くの人に共通していえることが一つございます。それは努力は始まりであり旅でありその終着点が成功であるという考えです。それでも、現実ではそう単純ではありません。いくら努力を積み重ね

てもなかなか思うように結果が出ないことのほうが多いです。こちらにいらっしゃる方々も自分がなぜ成功できなかったのだからかって一度自問したことがあるのではないのでしょうか。それでよく帰ってくる答えは努力不足という答えなんですけど、それだけで片付けてしまうとどこか納得のいかない感情が残ってしまいます。私の考えでは努力と成功の間にどうやら一つの法則があるように思います。それは成功までの距離と努力のスピードがきちんとかみ合う必要があるようなことです。成功までの距離と努力のスピードがきちんとかみ合う必要があるということです。いくら走ってても方向がずれていけばゴールには届かないように、努力も条件が揃わなければ成果には繋がらないのです。では、我々がどうしても成功できなかったらどう考えれば良いのでしょうか。普段は失敗と呼びますが、それはただの敗北として受け止めるのか、それとも学びとして捉えるのかは自分次第です。ただし、忘れてはならないことは一つございます。それは、時に二度目のチャンスが与えられないこともあるという現実です。戦いに敗れることが人生の喪失に繋がるように、失敗することは人生を左右するように、失敗はそのまま重大な意味を持つ場面でもございます。だからこそ、私たちは小さな失敗に慣れて満足してしまうことを避けなければなりません。失敗を恐れるあまり挑戦をやめるのではなく、学びを次へと繋げる姿勢を持ち続けること。これができてこそ我々のような一般人も努力が成功へと結びつける人間になれるんじゃないかなと思います。

大体時間にもなったと思います。ご清聴ありがとうございました。

藤田龍文会長

今日は大変為になるお話、ありがとうございました。逆に、詩も繰り返す表現も良かったでしょうし、あと「努力と成功」の話もとても参考になるドキッとするような話が沢山出てとても良かったです。今度はこちら会からの商品券ですので、何かにお役に立てるかと思っています。どうぞお納めください。

